

スカシタゴボウ

Rorippa islandica

アブラナ科



スカシタゴボウ

名前の由来

「透」は根元からのびる葉が深く切れ込んでいて、透して見えるという意味で、「田牛蒡」は田んぼに多く生え、根がゴボウに似ていることから。漢字名：透田牛蒡

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種)
草花

(外来種)
草花

哺乳類

(水辺)
鳥類

(草原・樹林)
鳥類
ワシ・タカ

形態的特徴

茎は高さ20～50cmになり、よく分岐する。葉は長楕円形で、縁には不ぞろいに深い切れ込みが入る。花は黄色で、2.5～3mmと小さく、4枚の花びら（花弁）は十字状で、枝分かれした茎の上部に多数の花がつく。果実は円筒形で長さ5～7mm、ほぼ同じ長さの柄がつく。

類似種と見分け方：ハルザキヤマガラシ、キレハイヌガラシなど。ハルザキヤマガラシは葉に丸みがあり、花は黄色で径6～8mmと大きく、果実は長さ約30mmで柄は1.5～2.5mmで細長い果実と短い柄が特徴。キレハイヌガラシの果実は長さ5～12mmで柄は5～10mmで果実はスカシタゴボウよりやや長い。

生育環境・分布

道端や河川敷、空き地などのやや湿ったところに普通。

分布：国外分布は、北半球。

国内分布は、日本全土。

北海道内分布は、全道。

十勝地方では、道端や河川敷、空き地などのやや湿ったところ。

生活史

開花時期：6月～7月。開花までの年数：1～2年。

寿命：1～2年草。

他生物との関わり

花には虫が訪れる。

興味深い話

■少し湿った場所に群生し、一面覆いつくして黄色い花を咲かせる光景は壮観ではあるが、田や畑でもよく生えるため雑草として駆除されている。



スカシタゴボウ



類似種のハルザキヤマガラシ

生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開花期			■									
結実期				■								

参考文献

「北海道植物図譜」 滝田謙譲 自費出版 2001

「日本の野生植物 草本II」 佐竹義輔・大井次三郎 他 平凡社 1982

「新版 北海道の花(増補版)」 鮫島惇一郎・辻井達一・梅沢俊 北海道大学図書刊行会 1993

「名前といわれ 野の草花図鑑4」 杉村昇 偕成社 1990